

所属学部/研究科	国際商経学部
所属学科または専攻	国際商経学科グローバルビジネスコース
学年	4年生
留学開始時の学年	4年生
留学先大学	カーティン大学（オーストラリア）
留学先所属学部/研究科	特定の学部には所属しなかった
留学開始日	2023-02-14
留学終了日	2023-12-09
1. 留学先の国、大学を選んだ理由を教えてください。	観光立国であるオーストラリアで観光経営を学びたかったから。また、カーティン大学の交換留学生は学部問わず履修科目を選べるため、興味のあることを広く学べる点に魅力を感じたから。
2. 交換留学の選考を受けるまでに語学対策等準備したことを教えてください。	IELTSを対策本やスマホアプリを使って勉強しました。
1. ビザの種類	Student (subclass500)
2. ビザ申請のための必要書類（在学証明書、預金残高証明書等）	パスポート、Confirmation of Enrolment（入学許可書）、OSHCの加入証明書
3. ビザの申請手順と申請場所（機関名、都市）	オーストラリア移民局のサイトでImmiAccountを作成し、申請書の入力と必要書類のアップロードを行う。
4. 面接の有無	なし
5. ビザ発行までの日数	1日
6. ビザ申請で問題になったこと、注意点があれば教えてください。	
7. 荷物を別送しましたか？	いいえ
8. 別送した場合は、発送方法と費用、受け取りまでの日数を教えてください。	
9. 荷物を別送する際の注意点があれば、教えてください。	
10-1. 日本から持参してよかったもの	ダイソーの電子レンジ用炊飯器、ヘアオイル、化粧品、スキンケア用品、ビーチサンダル（初日からシャワーを浴びる際に利用）
10-2. 日本から持参する必要がなかったもの	マスク
11. その他、渡航までに行った準備や手続きがあれば教えてください。（予防接種、健康診断、携帯電話等）	寝具をKmartのウェブサイトで購入し、寮へ郵送 コロナワクチンの接種
1. 利用フライト	乗継便
2. 航空会社・往路便名	シンガポール航空 関西国際空港からチャンギ空港・SQ0623 チャンギ空港からパース空港・SQ0223

3. 現地空港到着時間	午後（12：00～17：00）
4-1. 大学からの送迎	無
4-2. 有の場合、料金	
4-3. 現地空港から自分で移動した人は、現地空港から大学までの移動方法、所要時間、交通費を教えてください。	Uberで大学の寮まで約20分 24ドル（カーティン大学が負担してくれます）
5. 渡航にあたっての注意点、アドバイスがあれば教えてください。	平日であれば17時まで寮のオフィスが開いているので、その間に到着した方がスムーズに部屋に案内してもらえます。
1. 入国するにあたって、準備したこと	ワクチン接種（3回）
2. 入国後の隔離措置など	なし
1. 種類	学生寮
2. 形態	ベッドルームのみ個室
3-1. 部屋の詳細	専有面積（㎡）：9㎡ 何人部屋：6人
3-2. ルームメイト	他国の学生（交換留学生等）
3-3. ルームメイトの国籍	中国人3人、アメリカ人1人、インドネシア人1人
3-4. 自室の設備	収納（クローゼット） 机 椅子 ベッド インターネット設備（無線） 書棚 その他：扇風機・ヒーター
3-5. 共有部分の設備	共有スペース Wi-Fi テレビ ソファ キッチン トイレ 洗面台 シャワー 冷蔵庫 洗濯機 乾燥機
4. 居住環境、衛生状態など	キッチンが1つと、トイレとシャワーがそれぞれ2つずつありました。自分勝手に使用する人や、掃除当番を守らない人がいれば話し合いが必要です。話し合っても解決しない場合は、オフィスの職員さんが相談に乗ってくれます。壁が薄いので、夜は大きな音を立てないよう気を使いました。
5. 滞在先から大学へのアクセス	徒歩5分
6-1. 普段の食事の状況	学内（食堂、カフェ等） 外食 自炊
6-2. 上記の中で一番多く利用したもの	自炊
6-3. 食事についてのアドバイス	アジアンスーパーで大抵の日本食は手に入ります。
1. 現地大学到着時/後に行った手続き	入寮 学生証発行
2-1. 渡航国の銀行口座の開設	有

2-2. 有の場合、銀行名	Commonwealth bank
3. 入国時、持参した現金額	～10万円
4-1. 日本から持参したカード	クレジットカード
4-2. カードの内訳	クレジットカード2枚 (VISA)
5-1. 主に利用した支払い手段	クレジットカード
5-2. 最も利用した支払い手段	クレジットカード
6. お金の持参方法や、支払い手段、管理等のアドバイスがあればお願いします。	カードは故障や紛失に備えて、2枚以上持っていくことをおすすめします。
7. 学内施設（生活関連施設）	ATM スーパー ジム
8-1. 渡航先での携帯電話使用について	日本から持参したものを使用（現地のSIMを利用）
8-2. 渡航先での携帯電話・インターネット使用について特記事項があれば記入してください	
1. 留学先の大学、学部等の特徴や雰囲気について	現地の学生に加え、世界中から留学生が集まっており、様々なバックグラウンドのある人と交流できます。教授や職員の方は穏やかで優しい人が多い印象でした。
2-1. オリエンテーションの有無	有
2-2. オリエンテーションの参加	必須
2-3. オリエンテーションの内容	オーストラリアや大学についての説明、学生証発行の案内、アクティビティへの勧誘、フリーランチがもらえました
3-1. 履修登録のタイミング	出発前
3-2. 登録方法について	担当の方とメールでやり取りをしました。
4-1. 授業について	1コマの時間: 90分または180分 1週間の授業コマ数: 5コマ
4-2. 授業を理解して受けるための努力や工夫したこと	授業の予習復習をする。クラスで友人を作る。分からないことは教授に質問する。
4-3. 授業の登録や、受講するうえでアドバイスがあれば教えてください。	授業では積極的に話しかけて友人を作るのがいいです。困った時やグループワークで助け合うことができます。
5. 学修面で受けられるサポートと利用状況	大学のウェブサイト上で文献を閲覧したり、ダウンロードしたりできるので、教科書を買う必要がなく、またレポートを書く際に利用できます。キャンパス内の図書館も24時間開いていたので、夜遅くまで利用していました。
1. 留学先でどのように現地の学生や留学生と交流を深めましたか？	オリエンテーションウィーク中に、大学や各クラブが企画してくれる交流イベントに積極的に参加しました。また友人からの誘いにはほぼ「Yes」と答え、なるべく人と関わり、交友関係を広げるようにしていました。
2. クラブ活動や地域の活動、ボランティアなどに参加した人はその内容を教えてください。	ジャパニーズクラブとマレーシアンクラブに参加していました。ジャパニーズクラブには日本に興味のある学生が所属しており、週に2回集まって彼らと交流していました。海外から見た日本を知るいい機会になりました。マレーシアンクラブではピーチイベントに参加しました。友人を作れるので、クラブのイベントに参加するのはおすすめです。
3. 週末や休暇の期間はどのように過ごしましたか？	週末はショッピングに行ったり、寮で友人とご飯を作ったり、授業課題をしたりしていました。長期休暇には数日かけてロードトリップに行ったり、シドニーへ旅行したりしました。
4. 留学中に就職活動をした人は、どのようなことをしたか教えてください。	

5. 現地の生活に役立つ情報（フリーペーパー、雑誌、ウェブサイト、アプリ等）があれば、教えてください。	Transperthアプリ（交通系）、CommBankアプリ（銀行系）、Lost Campus（キャンパス内の地図アプリ）、Safer Community service(キャンパス内で夜に使える無料送迎サービス)
1-1. 合計費用	180万
1-2. 留学費用内訳	渡航費:30万円 保険代:7,700円 医療費:0円 食費（1ヶ月あたり）:2万5000円 家賃（1ヶ月あたり）:7万円 雑費（日用品等）:1万円 通信費（1ヶ月あたり）:1300円 テキスト:7,700円 その他:0円
1-3. その他の内訳	
2-1. 奨学金の受給	有
2-2. 有の場合、奨学金名と金額（1ヶ月あたり）	HUMAP 1ヶ月9万5000円
2-3. 留学奨学金についてアドバイスがあれば、教えてください。	
1. 渡航前に加入した学研災付帯海外留学保険と危機管理サービス以外に、加入した保険があれば教えてください	OSHCという保険
2-1. 留学中に体調を崩したり、怪我をしたことがありますか	いいえ
2-2. 体調を崩した際、どのように対処しましたか。	
3-1. 留学中に病院に通いましたか？	いいえ
3-2. 病院に行った方は、どのように病院を探しましたか。	
4-1. 留学中に気持ちがふさぎ込んだり、落ち込んだりしたことはありましたか？	はい
4-2. 落ち込んだ時、留学先で誰に相談しましたか？	留学先や日本の友人
4-3. 落ち込んだ時や、ふさぎ込んだ時のアドバイスがあれば教えてください。	人に相談すること
5. 留学中困ったことや危険を感じたことと、対処した方法について教えてください。	
6. 現地社会（習慣、マナー、安全面）において、知っておくほうが良いことがあれば、教えてください。	治安はそこまで悪くないですが、夜の一人歩きは控えた方がいいです。バスではお酒に酔った人や少し怪しい人が車両後方に座りがちなので、運転席に近い前方に乗った方が安全です。
7. 出発前に県大や留学先から提供してほしい情報があれば、教えてください。	

1-1. 卒業予定年月	2025年3月
1-2. 卒業・修了が遅れる見込みの場合、その理由と卒業（修了）までの予定を教えてください。	帰国後に就職活動と卒業論文の執筆をするため。
2. 今後の目標、進路について教えてください。（留学前後で目標進路が変わった場合は、それも含めて書いてください）	日本の製品を海外で販売するなど、日本や地元兵庫と海外を繋ぐ仕事に就きたいと考えています。
3. 留學生活の感想と、留學前と比べて考え方や意識の変化があれば教えてください。	異国での生活を1人で乗り越えたことや、言語の壁を越えて大切な友人ができたことで、自分に自信を持つことができました。またグローバルな環境での交流を通じて、人との違いを受け入れる姿勢も身につきました。
4. 次に留學する人へのメッセージ	私は留學前、日本人として現地で疎外感を感じるのではないか、英語がペラペラでないと友人ができないのではないか、といった不安を感じていました。しかしいざ渡豪すると、それは杞憂だったと気付かされました。オーストラリアには移民が多く、非常に多国籍で、英語を第二言語として話す人が多くいます。そのため海外から来た人々を受け入れる空気感や、英語を学ぶ人々を応援する雰囲気があり、私のような留學生には非常に過ごしやすい環境でした。海外で暮らすことに不安は付き物ですが、実際始まってみるとそうでもなかったり、もし困ったことがあっても必ず誰かが助けてくれます。留學は学びを深められるだけでなく、人としての成長や、友人とのかけがえない出会いをもたらしてくれるので、迷っている方はぜひ挑戦してみてください。

交換留学 帰国後報告書
交換留学中の学修記録

記入年月日	2024年1月			
学部・研究科/学年	国際商経学部・研究科	4年	留学開始時	4年
留学先大学	カーティン大学			
留学先所属学部・研究科	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった			
留学期間	2023年	2月	14日	～ 2023年 12月 9日

単位について

留学先で取得した単位数合計	150 単位
本学で認定申請した単位数合計	単位
本学で認定された単位数合計	単位
<input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請をしない	理由：留学前に卒業に必要な単位数を取得していた

履修科目について

交換留学先で履修した科目について、科目毎に記入してください。履修科目が多く表が足りない場合は、一番下へ表をコピーして記入してください。

1

登録授業名（現地言語で）	Principles of Tourism, Hospitality and Events				
履修学期	Semester 1	単位数	25 単位	週の授業回数	2 回
授業のスタイル	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> プロジェクト <input type="checkbox"/> 実験 その他（ ）				
授業内容	互いに関連した3つのセクターである観光、ホスピタリティ、イベントの原則を学びました。具体的には、ケーススタディを用いて、これらのセクターが持続可能な経済的、生態学的、社会文化的側面をどのように取り入れているかを探究しました。どういった観光施設や政策が、現地の環境や文化を侵害しているのか、また保護に貢献しているのかを知ることができました。				
試験・課題	グループプレゼンテーション、エッセー、教授との口頭試問、Webテスト				

5

登録授業名（現地言語で）	Designing User Experiences				
履修学期	Semester 2	単位数	25 単位	週の授業回数	1 回
授業のスタイル	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> プロジェクト <input type="checkbox"/> 実験 その他（ <input type="checkbox"/> セミナー ）				
授業内容	ビジネスメソッドを活用して企業のユーザーエクスペリエンス(UX)を向上させる方法を考えました。企業の解決したい問題やその原因をメソッドを用いて明確にし、顧客ターゲットを定め、それに基づいて店舗やウェブサイトのデザインを行いました。最終課題では 5 人で会社を考案し、その企業のウェブサイトのデザインを完成させました。				
試験・課題	エッセー、個人プレゼンテーション、グループプレゼンテーション				

6

登録授業名（現地言語で）	Animation and Special Effects Compositing				
履修学期	Semester 2	単位数	25 単位	週の授業回数	1 回
授業のスタイル	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> ディスカッション <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト <input type="checkbox"/> 実験 その他（ ）				
授業内容	アニメ制作に使われるデジタル合成技術を学びました。授業では実際の作品を見ながら、使用されている手法や効果を学び、また演習を通して映像を制作しました。課題では VFX を用いた動画や手書きのアニメーションを制作しました。				
試験・課題	個人でのアニメーション制作				

7

登録授業名（現地言語で）	Typography				
履修学期	Semester 2	単位数	25 単位	週の授業回数	1 回
授業のスタイル	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト <input type="checkbox"/> 実験 その他（ ）				
授業内容	タイポグラフィデザインの機能性や制作について、実践、デモンストレーション、ディスカッション、書籍を通じて学びました。授業課題では Adobe の illustrator というソフトウェアを用いて、名刺や舞台のポスター、パンフレットをデザインしました。				
試験・課題	個人でのタイポグラフィ制作				